
岐阜県立岐阜農林高等学校

学 校 長 高 田 広 彦
学 校 住 所 本 巢 郡 北 方 町 北 方 150 電 話 058-324-1145

- 1 会 議 名 令和6年度 岐阜農林高等学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和6年6月10日（月） 13:30～15:30
- 3 開催場所 岐阜農林高等学校 会議室および学校農場（授業参観）
- 4 参加者
- | | | |
|-------|-------|---------------|
| 会 長 | 住田真佐子 | 北方町民生委員 |
| 委 員 | 川瀬 和弘 | 北方町立北学園校長 |
| | 所 紗也香 | 大垣共立銀行ぎふ県庁支店長 |
| | 安藤 貴広 | 本巢市立糸貫中学校長 |
| | 伊藤 泉 | 本校育友会役員 |
| 学 校 側 | 高田 広彦 | 校長 |
| | 三輪 孝司 | 教頭 |
| | 中野 輝良 | 教頭 |
| | 額 和也 | 事務部長 |
| | 青木 祐太 | 教務担当（教務主任代理） |
| | 出村 敏行 | 進路指導主事 |
| | 田口 健太 | 生徒指導主事 |
| | 大山 卓英 | 農場長 |

5 会議の概要（協議事項）

- (1) 学校運営協議会の設置運営について
- (2) 会長・副会長の選出
- (3) 授業参観
- 主に学校農場（屋外）における専門科目での学びの様子を参観
- (意見1) 農場で体験を通して学ぶ生徒は、とても生き生きしており、感動した。
- (意見2) 生徒たちは座学（教室）で学んだことを実習（フィールド）で結び付け、学びを深めている様子であった。
- (4) 教育指導の重点及び学校経営計画、分掌の取組計画について
- 承認
- (意見1) 岐阜農林高校は就職、進学ともに生徒が専門性を生かした進路選択をしている。今後も自己実現につながるような指導を大切にしていきたい。
- (5) 教職員の働き方改革プラン2024の取組について
- (意見1) 地域の人材とも連携した学校づくり（微助っ人＝地域の人が「わずかでもできること」で学校に関わる）で、働き方改革とともに学校の充実を進めてほしい。
- (6) スクールミッション策定に向けた意見交換について

岐阜農林高校に期待される社会的役割、存在意義、目指すべき学校像について委員と学校職員による意見交換

- (意見1) 地域だけでなく、県全域や国においても農業を専門的に学ぶことに特化した学校である。
- (意見2) 実験実習を通して実践や体験を通して学ぶ学校である。
- (意見3) 自信と誇りをもち、豊かな人間性を育む学校である。
- (意見4) 生徒が主体的に学び、挑戦できる学校である。

(7) 全体を通して

- (意見1) 岐阜農林高校の生徒は自然にあいさつや声掛けができる姿勢が素晴らしい。こうしたコミュニケーション力を身に付けられる教育を継続してほしい。
- (意見2) 農場での学習現場で生徒たちの生き生きとした様子が見られた。また、しっかり受け答えができる姿に感動した。社会人としても大切な素養となる「主体性、チャレンジ精神」を、高校における学びの場において実践できている。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の学校運営基本方針について承認を得られた。また、本年度の策定を目指すスクールミッションについても意見交換を実施し、助言を得られた。

委員の皆様には、第2回以降の学校運営協議会において、引き続き、授業参観等において生徒の様子を実際に見ていただき、当校の取組の評価及び目指すべき姿や方向性についての助言をいただきたい。また、スクールミッションについては今回の意見交換、助言をもとに、今後、具体案の検討を進める予定である。